	<u>:</u>	平成	19	年度	事務事	業評価シ	-				
No.			務富的	休み・冬休み自?	犹休除朗佐事	苯			所 属	部 教育部	
INO.		事業	名	水の・冬水の日	公中級用軍	未			所 属	課生涯学習	
政策				きあうまちづくり					課長	名 野村 望	
体系				の健全育成					所属G(望グループ
	基本事業名(学びを支援する		= 11/ 6			電話習	子号 42-1111	
		会計 一般			事業 53025 青:	事業名 少年健全育	成事	法令 業 根拠 特にが	なし		
事務	事業の概要(身	具体的	りなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	明間 一
小学活に	学校高学年から高 おいて不足しがな	§校生	を対象に	こ、豊かな自然に	触れさせ、共同:	生活と様々な	体験を	eさせることによって F齢間を超えた子(共たちの交 '	単年度のみ	
定員	場を提供する。 員50名、2泊3日 丸19年度 夏~駅	売 自 ‡	5 夕~-	누스(미カ 품때						☑ 単年度繰返 ┗	(H 18 年度~)
				~ 大分県九重町 ~ 大分県九重町						□ 期間限定複 ┗(年度	
	現状把握の部(1.435							7 13	1 (2)
	■務事業の目的 ■段(主な活動)		í 標				1	活動指標(事務事業の活	動量を表す指標	1
	〒度実績(19年		行った:	主な活動)				/ロ宝//1日1示(5	200 至来07.6 名称	1到里で化り1日1末	<mark>∕</mark> 単位
								ア参加者数			人
00/	上席もまり	· 🚌 !=	1 - 1 -	テリマナかげも	.		⇒	1			
	中度計画(20年 丸19年度に同じ	・度に	計画し	ている主な活動)		7	ָ י			
ঠঃ	t免/誰 何をか	ままり はっこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かい	1.711	るのか) * 人や	白妖咨酒等			対象指標(対	付象の大きされ	ますお煙)	
	25年~高校生 25年~高校生	13(IC	-0 (0 1	00713) 7(1-1	山 然莫冰寺			<u> </u>	名称		単位
								ア 小学5・6年	生,中学生	, 高校生数	人
							,	イ ウ			
意	気図(この事業)	こよっ	て、対象	象をどう変えるの	(מל ס				対象における	意図の達成度を	
				を学ばせ,異年的		3	١.		名称		単位
								ア有意義と感	じた参加者	の数	人
							,	イ ウ			
糸	ま果(どんな結り	果に紅	吉び付け	けるのか)					標(結果の達	成度を表す指標	
霧島	の豊かな自然環	境の中	中で様々	な体験活動ができ	きる				名称		単位
								イ体験活動プログ	ファムに参加し7	と児童生徒の満足度	<u>%</u>
							,	ウ			
(2) 約	総事業費·指標:		単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
<u> </u>	の推 回車支出			(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	
	知道应则古		千円								
事	划点 地方值	ŧ	千円								
投費	si≐ol ていル		千円	4.044	2 222	0.4					
入	一放兒	<u>까</u> (A)	千円	1,911 1,911	2,060 2,060	2,4° 2,4°	11				
量一	于未具川	(\(\mathcal{A}\)	113	1,511	2,000	۷,٦	-				
1 -											
		ア	人	26	37		88	90	90	90	+
	活動指標	1	, ,								
		ウ		40.070	40.00=	10.7		40.700	40 700	10.700	
	対象指標	アイ	人	13,073	12,887	12,70	09	12,769	12,769	12,769	
	い」のハロコホ	ウ					\dashv				
	-t	ア	人	未把握	未把握	-	88	90	90	90	
	成果指標	イウ					-				
		ア	%	未把握	未把握		90	90	95	95	
1	位成果指標	1									
1		一						1		1	I

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市町村合併を契機に、青少年に自然に親しむ機会を与えるために開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 以前に比べ、子どもたちが自然と親しむ機会が減ってきている

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 保護者からは集団生活を経験したために生活態度が変わった等の声が寄せられている。

	事務事業名	夏休み・冬休み	ら自然体験開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課		
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理			ている【理由】			
	が結果に結びついて	ハ?意図すること	次世代を担う子どもたちに,自然の大切さ,偉大さ,共同生活のルールを学ばせ,異年齢間の交流を図らせる						
的妥			■見直し余地がある【理	曲】 🎝	☑ 妥当であ	る【理由】 🦜			
性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	が行わなければな 投入して、達成	部市化が進む霧島市では,普段の遊びの中で自然と触れ合う機会が減少しており,教育の中で自然体験をする場を提供することが子どもたちの健全な育成にとって重要である						
一個	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【理	曲〕之	☑ 適切であ	る【理由】与			
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		募集人員を拡大することにより	,さらに多く	《の青少年の健全	全育成を図れる			
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> 1</u>	□ 向上余地	ながない【理由】	→		
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	参加可能人員を増やすことで 験機会を作ることができない。	,さらに多く	の青少年の健全	≧育成が図れる。参	診加人数が限られてしまい,広⟨体		
有	廃止・休止の反	艾果への影響	□影響無 【理由】 🕤		▼ 影響有	【その内容】 🦜			
効 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		自然豊な霧島市で育って良か	ったと思う	苦者が減少し, 絜	霧島市に対する愛 り	着が薄れる		
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	5 🖜 🗌 統	廃合できない 🕤	■連携できない 与		
	以外他に方法はない との統廃合ができる	か?類似事業と	県立の研修施設等が行なう自 の協力がなければ参加できな		≰があるが , 現地	集合であり,交通	手段を持たない子ども達は保護者		
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の冋上							
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理日		☑ 削減余地	がない【理由】	₽		
効率			事業費は研修施設で必要な総の参加に影響が出る	怪費であり,	削減した場合,。	より多くの受益者負	担を求めることになり、子どもたち		
性	人件費(延べ業 減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	☑ 削減余地	がない 【理由】	_		
	。 やり方を工夫して延	具を下げずにより や委託でできな	多くの子どもたちを安全に引率	≝するため0	の最小の人員で対	対応している。			
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある【理	曲] 🤝	☑ 公平·公司	正である 【理由】	₽		
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	募集は市内小中学校を介して 事代等の参加費を徴収してお				る。また , 受益者からは宿泊代・食		
			(次年度計画と予算への反			【担当課長記入村	m)		
(1,) 1次評価者として(目的妥当性	の評価結果 ▼ 適切	(2) ± 見直し余地あり ユ	14 総百(五	辰り返り、反省))			
	有効性 効率性	□ 適切☑ 適切	✓ 見直し余地あり✓ より多✓ 見直し余地あり✓ 図って		徒が参加できる。	よう,安全の確保に	こ留意しながらプログラムの改善を		
	公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり						
(3)) 今後の事業の方[□ 廃止 □休止		案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善)	□現	 伏維持		改革・改善による期待成果 隆止・休止の場合は記入不要)		
	□ 目的再設定 □ 事業統廃合·連持	事業(のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来)	通りで特に改革さ		コスト 削減 維持 増加		
	改革改善案 >		, ,				白上		
	らくの児童生徒が参加 5報 , 周知活動の徹底		O) 約冊 D.X.				成維		
							果持低		
) 改革、改善を実現 そ全性の確保	まする上で解決 つ	すべき課題(壁)とその解決!	東					

No. 事務 事業名 わんぱく!きりしまっ子冒険塾事業 所属部 教育部所属課									課		
TL 20		4	育み磨	香きあうまちづくり						名 野村望	
政策体系		2	青少年	の健全育成					所属G(係	系) 生涯学習	G
件刀	基本事業名 0	1	体験と	学びを支援する					電話番	号 42-1111	
	会計 款 項 目 事業 事業名 予算科目 一般 1 0 0 6 0 2 153025										
	務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業期間 島市内の小4~高校生を対象に,年間10回様々な体験活動を実施。全10回を通して同じメンバーで活動すること 単年度のみ										
	市内の小4~高校 〕, 仲間作りやリー] 単年度のみ	
	プ, 1中間1Fリプリー キャンプ活動や , 混					との理携事業	200	, 心学能人子()	-	7 単年度繰返	
									1		H 1年度~)
									Г	期間限定複数	
										┗(年度	~ 年度)
1 :	現状把握の部(DO) 1) 事務事業の目的と指標										
	事務事業の日的 F段(主な活動)	と抽	悰					活動指標	(事務事業の活動	動量を表す指標)	
19	年度実績(19年)	度に	行った	主な活動)				/H±//JH///	名称	助主で代グゴロボ)	単位
開講	式,落花生栽培。	収穫	, 志學館	大学生とのキャン				ア実施回数	1		0
	変更) , 鹿児島高 ^頭 , 初午祭 , 閉講式	専での	の上業法	支術講座 , 防災キャ	ヤンフ(無人島体	「競), 鬼火		7 天旭四数			ш
			41 1	マニュラ ナーム・イチャ	,		\Rightarrow	1			
	<mark>年度計画(20年)</mark> 式,さつま芋栽培					島高車講	,				
座,	防災キャンプ , 鬼り	く焚き	5,初午	祭,地球温暖化を	考える講座,閉	講式		ウ			
	寸象(誰、何を対			るのか) * 人や[自然資源等			対象指標	(対象の大きさを	表す指標)	
霧島	市内小学4年生~	高杉	生				_	- 1. ※ 4 左			単位
							\Rightarrow	ア 小学4年:	生~高校生		人
								ウ			
	意図(この事業に							成果指標		意図の達成度を表	
参加	者が,心豊かな青	少年	の健全	育成とリーダーにタ	戎長する 。		_	ア参加者数	名称 '		単位
							\Rightarrow	グラル自然	<u> </u>		人
								ウ			
	吉果(どんな結果 の豊かな自然の中							上位成果	指標(結果の達成	成度を表す指標)	単位
務垣	の音がな日然の中	¬ C 1/2	ドイタは	例(人) 日本				ア体験活動プ	<u>名称</u> ログラムに参加した!	児童生徒の満足度	<u> </u>
							\Rightarrow	1			
(0) (<u>~</u>	1	10万亩	40年度	00左座		ウの佐藤	00左座	00左座	
(2) #	総事業費·指標等 の推利		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)		21年度 (見込)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
П	国庫支出	金	千円	(× × 1032)	\ Z \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	>=~/	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
1			千円				_				
) - 	事源 地方債 大人 その他		千円 千円				\dashv				
投貨	NX 只见 //	京	千円	732	634	1,06	57				
投 入 量	事業費計(A)	千円	732	634	1,06	7				
							=				
Ш		_		10			\perp	10	16	16	
	活動指標	アイ	回	10	9	1	0	10	10	10	
	/口玉//]日1示	ゥ									
	110 101-	ア	人	13,073	12,887	12,76	9	12,769	12,769	12,769	
	対象指標	イウ					-				
		ア	人	98	88	13	3	100	100	100	
	成果指標	7			33						
		ウ	0/	++m+P	++m+=		10	00	0.5	0.5	
	上位成果指標	アイ	%	未把握	未把握	ξ	00	90	95	95	
		ウ									
(3)	事務事業の環境	变化	: 住民	意見等	1 - 1 - 1 - 1	7/h 22//		- /			
	の事務事業を関	出加	ルナーきー	カリナナイ団かり	1つ1白どんか名	メ給で閉かさ	nt-	のか り			

現代の青少年にとって,異年齢での自然体験活動が不足している。次代を担う青少年が健全に成長し,ふるさとのよさを再確認する目的で平成元年から開 始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 5年前と比較して,児童・生徒が市内全域から参加するようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加者の保護者から活動の継続するよう要望があった。

	事務事業名	わんぱく!きり	しまっ子冒険塾事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課			
2	評価の部(SEE) * 政策体系との整		『価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある【理		▼ 結びついている	【理由】「	<u></u>			
	が結果に結びついて	?意図すること		市内全域から集まった参加者が,異年齢での活動を通して,次代を担う健全な青少年を育成を図る。						
的妥	公共関与の妥		□見直し余地がある 【理由】 → 妥当である 【理由】 →							
性評	する目的か?	行わなければな 投入して、達成	他校の児童・生徒との交流と体験は、次代を担う青少年の育成は、市の役割である。							
価	対象・意図の妥	当性	▼ 見直し余地がある 【理	即之	□ 適切である【理	申プ				
	限定・拡充すべきか	?	現在小学4~高校生を対象としているが、参加申込者が非常に多く、施設の定員や安全性から、再考する必要がある。							
	成果の向上余地	也	┃ □ 向上余地がある 【理[▼ 向上余地がない	【理由】 「	₽			
	成果を向上させる余: 果の現状水準とある。 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 [因で成果向上	参加者の意識の向上が確認できている。							
有	廃止・休止の成	果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜				
効性評	有 効 事務事業を廃止・休止した場合の影 性、響の有無とその内容は? 対象者の他校及び異年齢での活動の場がなくなる。 評									
価	類似事業との紹 可能性	Ŕ廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段	事務事業)					
	目的を達成するには 以外他に方法はない	いか?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携でき	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 与			
	との統廃合ができるた の連携を図ることによ		他に類似の事業がない。							
	が期待できるか?									
	事業費の削減さ		█ 削減余地がある【理日	⊞) 	▶️ 削减余地かない	【埋田】	→			
効率	の協力など)	の適正化、住民	現在でも,地域住民や他の行							
性評	人件費(延べ業 減余地	務時間)の削	┃ ┃ 削減余地がある 【理日	即夕	▼ 削減余地がない	【理由】	₽			
	やり方を工夫して延ん	を下げずにより b委託でできな	休日を活用する事業であり、削減できない。							
公	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■見直し余地がある【理	即之	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽			
平		· 亚兰老仁伯								
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象者全員に,案内チラシを	配布し,参	加希望者は全員受け入る	れている。				
_			(次年度計画と予算への反			果長記入	制】			
(1)) 1次評価者としての 目的妥当性		(2) 3 ▼ 見直し余地あり	三体総括(:	振り返り、反省点)					
	有効性	☑ 適切	見直し余地あり 徐久			:事業である	る。プログラムの内容により学年制			
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり 限を打□ 見直し余地あり 	男考し(行)	〈必要がある。					
(3)	今後の事業の方向	可性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果			
		事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要) - コスト - 川減 維持 増加			
<改革改善案 >										
			すべき課題(壁)とその解決	策						
参	加者の安全性の確保									

	平成	19	年度	事務事業	<u> 業評価シ</u>	<u>- </u>					
No.	事	務書	少年育成センタ-	- 運営重業				所 属	部 教育部		
							所 属	課生涯学習	課		
政策 政策名			磨きあうまちづくり 課 長						名 野村 望		
体系 施策名	0 2	青少年	の健全育成					所属G(f	系) 生涯学習	グループ	
基本事業名			の非行防止のカ					電話番	号 42-1111		
予算科目	会計一般	款 1 0		事業 53025 青少	事業名 少年健全育	成事	法令 特 根拠	こなし			
<u></u> 事務事業の概要(目体的	5 #> #5 11	七 手順 詳细	#1997年 第1	物生皮重型	1+4		1	事業期	38	
青少年育成センタ								青少年を取し		目	
り巻く有害環境の浄	化活動	等の間接	妾的な活動があり,						_ 		
			〖人地区3名,8名 区有識者20名,讀	+0.7 <i>夕</i>				Ī.	☑ 単年度繰返		
附等女具 子	-1又★百♡	4 亩 , 2만	区有概有20百,6	1021					·	H 17 年度~)	
								_	」期間限定複数		
 1 現状把握の部	(DO)								┗(年度	~ 年度)	
(1) 事務事業の目		煙									
手段(主な活動		1/1/					活動指標	(事務事業の活	動量を表す指標)		
19年度実績(195	年度に							名称	,	単位	
定期街頭補導活動 6つのコースを巡回			算委員 , 育成セン [,]	ター指導員が月	に2~3回,		ア定期補導	同数		回	
301-人を巡回す			が地区内を巡回				> XEXXIII 49				
相談活動~育成セ						\vdash	イ巡回指導	同数			
20年度計画(20年	年度に	計画し	ている主な活動)		4				н	
定期街頭補導活動,				,			☆ +u= */ G */				
							ウ相談回数				
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指標)											
青少年 青少年の健全育成に	二亜影響	壁を乃げ	す可能性のあるは	≘全甫			ア青少年数	<u>名称</u>		単位	
		言で次は	9 -1 86 1 20 00 0 16	1 HH		\Rightarrow	イ 悪影響店			人 軒	
							ウ	нихх		т.	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す											
街頭補導による青少	年の初	発型非	行の防止や環境消	P1七		_	フレ道な巫	名称 けた未成年者数	\f 1	単位 人	
						\Rightarrow	が相等を支	けた木成牛白芽	X.		
							<u>.</u>				
結果(どんな結			けるのか)				上位成果	指標(結果の達成	成度を表す指標)		
社会のルールを身に非行をさせない環境		• -					フェルケが社会	<u>名称</u>	ると考える市民の割合	<u>単位</u> %	
HF11でCCはない場場	としい	V						ことって市内が望ましい環境とな		% %	
						,	ウ			70	
(2) 総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度		
の担じ、			(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)		
財工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		千円									
事 地方	債	千円									
事 満 報道府県		千円									
入 事業費計	<u>才源</u> (A)	千円	7,089 7,089	8,418 8,418	7,67 7,67						
量	(A)	IIJ	7,009	0,410	7,0	0					
	ア	回	75	63	-	70	70	70	70		
活動指標	イ		56	80		70	70	70	70		
	ن		119	201		50	150	150	150		
	ア	人	17,134	16,903	16,69		16,695	16,695	16,695		
対象指標	<u>イ</u>	軒	133	133	10	33	130	130	130		
<u> </u>	<u>ウ</u> ア	人	213	150	1'	30	120	120	110		
成果指標	1		210	100	- 10		120	120	110		
	ウ										
	ア	%	28.1	12.3	32		34.0	36.0	38.0	·	
上位成果指標	イウ	%	16.6	22.0	22	.0	24.0	24.0	26.0		
(3) 事務事業の環	境変化										
			かけは何か?し	1つ頃どんな約	経緯で開始 d	された	:のか?				

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

	事務事業名 青少年	が成センター運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課		
2	評価の部(SEE) * 原則は 政策体系との整合性	■後評価、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】「	<u> </u>		
	この事務事業の目的は市(町 策体系に結びつくか?意図すが結果に結びついているか?	<u></u> の政	青少年の非行防止のための環境づくりにおおいに寄与している。					
的妥	公共関与の妥当性	■見直し余地がある【理	曲)	▼ 妥当である 【理	由)之			
当性評	なぜこの事業を市が行わなけらないのか?税金を投入して、する目的か?	ればな 達成 街頭補導や巡回指導,相談派	舌動等 , 行政	汝対応の事業と考えられ	3 .			
価	対象・意図の妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	由プ			
	対象を限定・追加すべきか? 限定・拡充すべきか?	教育的な配慮から考慮9 れん		見行で適切である。				
	成果の向上余地	▼ 向上余地がある 【理日	#] 2	□ 向上余地がない	【理由】「			
	成果を向上させる余地はある。 果の現状水準とあるべき水準 異はないか?何が原因で成果 が期待できないのか?	fに積極的に協力してもら	うことで成	果向上の余地があると考えられる。				
有	廃止・休止の成果への	「影響無 【理由】 →		▼ 影響有 【その内	容] 🤼			
効性評価	事務事業を廃止・休止した場は響の有無とその内容は?	音の影 青少年の健全育成に携わるもそのため、情報の収集、関係				直接関わる部署が存在しなくなる。		
	│ 類似事業との統廃合・迫 可能性	□携の □ 他に手段がある(具体	的な手段	事務事業)				
	目的を達成するには、この事別以外他に方法はないか?類似との統廃合ができるか?類似!	- 		る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない		
	の連携を図ることにより、成果(が期待できるか?)向上	•					
	事業費の削減余地	✓ 他に手段がない 【理由厂 削減余地がある 【理目		▼ 削減余地がない	【理由】	<u>7</u>		
効率	成果を下げずに事業費を削減 いか?(仕様や工法の適正化		•		(PIM)	•		
性	人件費(延べ業務時間	の削 削減余地がある【理日	⋣] 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	₽		
	減余地 やり方を工夫して延べ業務時 減できないか?成果を下げず 正職員以外の職員や委託です いか?(アウトソーシングなど)	こより 正職員以外の職員に委託して	(おり, 現在	より削減余地はない。				
公	受益機会・費用負担の	適正 □見直し余地がある【理	画	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₹		
公平供	化余地							
評	事業の内容が一部の受益者にていて不公平ではないか?受負担が公平・公正になっている	益者	美であり, 公	平・公正である。				
	評価結果の総括と今後の2 1次評価者としての評価結	う向性(次年度計画と予算への反 型 (2) 4		N) 担当 振り返り、反省点)	果長記入	[1]		
(')	目的妥当性 🔽 適		_ LT(0001H (派9257、人口杰)				
	有効性 □ 適 効率性 ▽ 適			・周知を図り,年々相談事 に寄与していると考えら		加の傾向にある。また,青少年の健		
	公平性	, DE 0, 1, 100)	3, 1C 03 03 V		•			
٠,	今後の事業の方向性(改革 □ 廃止 □休止 ▼	込善案)・・・複数選択可 事業のやり方改善(有効性改善)	Πщ	状維持		改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要)		
	目的再設定	事業のやり方改善(効率性改善)		が編り 通りで特に改革改善をし		`•. コスト		
< i	□ 事業統廃合·連携 □ 改革改善案 > □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	事業のやり方改善(公平性改善)				10		
関化	係の民間企業等にセンターの氵	動を周知させる。				上 成維 果持 低下		
		解決すべき課題(壁)とその解決	策					
├指	í導員,相談員の資質の向上。							

			平成	19	年度	事務事	業評価シ	-					
No. 事務 校外生活指導連絡会支援事業 所属部 教育部 (新聞) 大阪 展 期 大阪 (新聞) 大阪 (
								訓課	生涯学習	課			
	**	政策名	0 4	育み磨	雪きあうまちづくり)			課長			長 名 野村 望	
	策系	施策名	0 2	青少年	の健全育成					所属 🤆	(係) 生涯学習グループ		
144	厼	基本事業名	0 2	青少年	の非行防止の	ための環境づ	(I)			電話	番 号	42-1111	
	会計 款 項 目 事業 事業名 法令 特になり 特になり 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業期間												
								は全	体像を記述)			事業期	間
	□ 期間限定複数									H 17 年度~) 效年度			
1											~ 年度		
		務事業の目		5標									
(,)		<u>奶事業の間</u> 段(主な活動		- 1111					活動指	漂(事務事業の	活動量	を表す指標)	
1		度実績(19年		行った	主な活動)					名称			単位
ħ	交外	生活指導連絡	会総会	会の開催	,地区別校外生活	舌指導連絡会の	開催(3回)		ア連絡会の	の開催			回
2	00年	度計画(205	宇宙に	· 計画1.	ている主な活動	1)		\Rightarrow	1				
		-/支計画(201 度に同じ	十夕に	-n 凹U	ている工体/自制	1)		,	ウ				
	対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
林	がか	家(誰、'門を〉 生活指導連絡	と 食機を	こしてい お旨	るのか) ^ 人や	日然貝까寺			XY家怕化	宗(対象の大き。 名称	を表り	扫標)	単位
1.	X / I	工/口)10等连加	1 A 1A1.	火 兵				\Rightarrow	ア校外生活		の構り	龙 昌数	人
								7	1		· 11375	<i>N</i>	, ,
									ウ				
					象をどう変えるの				成果指标	漂(対象におけ	る意図	の達成度を表	
村	交外	生活指導連絡	会のF	円滑な連	営と財政の健全化	どを図る。			H	<u>名称</u>			単位
								\Rightarrow	y <mark>ア 自主財》</mark> イ	原平			%
									ウ				
	結	果(どんな結	果に約	結び付け	けるのか)					見指標(結果の	達成度	を表す指標)	
	会σ.	ルールを身に	つけ、	守る	,					名称			単位
非	行を	させない環境	をつく	る					,	会のルールを守って			%
								7		成にとって市内が望ましい環	境となってい	ると考える市民の割合	%
(2)	松	事業費·指標	= 空	1	18年度	10年度	20年度		ウ 21年度	22年度	1	23年度	
(2)	ive	サ来貝 10位の指		単位	(実績)	19年度 (実績)	(見込)		(見込)	(見込)		25年及 (見込)	
		財 国庫支	出金	千円	(= = ===)	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1	\	,,,,,,,,	1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	事	源		千円									
	業	内 地方		千円									
投	費	お その作	<u>他</u> お海	千円	400 000	360 000	350.00	10					
入		事業費計	<u>1까</u> (A)	千円	409,000 409,000	369,000 369,000	350,00 350,00						
量		サ木貝 □	(11)	111	+00,000	000,000	330,00	, 0					
H			ア		5	5		5	5		5	5	
		活動指標	1								Ť		
			ウ										
	_	77 7 7 7 7 =	ア	人	18	18	1	8	18	1	8	18	
		対象指標	イ ウ					\perp					
-			リワア		49	52	-	53	55		55	55	
		成果指標	ア イ ロ		43	52		,,,	55	`		55	
1			一片							 	_		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

上位成果指標

%

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

28.1

16.6

平成17年の市町村合併により霧島市として「郊外生活指導連絡会」の組織を整備した。17年度は旧自治体の組織で暫定的に活動し,平成18年度より,各種団体が霧島市に一本化されたのを受け、「霧島市校外生活指導連絡会」として発足した。

32.0

22.0

34.0

24.0

36.0

24.0

38.0

26.0

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市町合併に伴い,新市の校外における青少年健全育成のための組織として,広範囲な情報・意見交換等に役立っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加者から、児童生徒の商店等への出入りの不可等について明確化してほしいという声があがっている。

12.3

22.0

	事務事業名	校外生活指導	連絡会支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課			
2	評価の部(SEE) ⁷ 政策体系との割		平価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	्र ि			
	が結果に結びついて	ハ?意図すること	校外における青少年健全育成	校外における青少年健全育成のための組織として,情報・意見交換に役立っている。						
的妥	公共関与の妥		□見直し余地がある 【理由】 🕠 🔽 妥当である 【理由】 🥠							
性評	する目的か?	が行わなければな ・投入して、達成	連絡会の円滑な運営と財政の健全化を図る上で妥当である。							
価	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【理	由了	☑ 適切である 【理	曲 之				
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		各方面からの協力も得られており,現状で十分である。							
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	∃) 	□ 向上余地がない	【理由】	₽			
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	構成員一人一人の意識の向」	_を図る。 糾	1織としての機能化を図	ర ి.				
有	廃止・休止の原	は果への影響	□影響無【理由】与		▼ 影響有 【その内	容] 🤼				
対性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		学校,保護者,関係機関が連	携して青少	年の健全育成に寄与す	「る場がなく	なる。			
	類似事業との約 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)					
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	る 🦴 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない			
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	現在の状況で各方面より協力を		いる。					
H	事業費の削減	全地	✓ 他に手段がない【理由 間減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	(理由)	5			
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな		•	_		•			
性	人件費(延べ業	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	<u> </u>	☑ 削減余地がない	【理由】	₽			
	<mark>減余地</mark> やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 ⁴ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	すでに外部で対応している。							
公	受益機会·費用	月負担の適正	□見直し余地がある【理	申プ	☑ 公平・公正であ	る【理由】				
平	103/26									
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者	市全体に広がっており,公平・	公正である	5					
_			(次年度計画と予算への反		N) 【担当 振り返り、反省点)	果長記入	(B)			
(1)) 1次評価者として(目的妥当性		(2) ± 見直し余地あり		成り返り、反首点)					
	有効性		▼ 見直し余地あり ▼ 組織の)改善,事	業の改善を図ることで今	後も向上の)余地がある。。			
	効率性 公平性	✓ 適切✓ 適切	□ 見直し余地あり□ 見直し余地あり							
(3)) 今後の事業の方[句性(改革改善	案)・・・複数選択可		11. V A. + +) 改革・改善による期待成果			
	□ 廃止□ 休止□ 目的再設定		のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要) ・・・ コスト			
<	丁事業統廃合・連打 改革改善案 >	携 □ 事業の	のやり方改善(公平性改善)				10 維持 増加			
内 大 構成員の青少年健全育成に対する意識の向上を図る。 大 大 大 大										
			すべき課題(壁)とその解決領	友		1				
全	員が参加しての研修:	会等の開催								